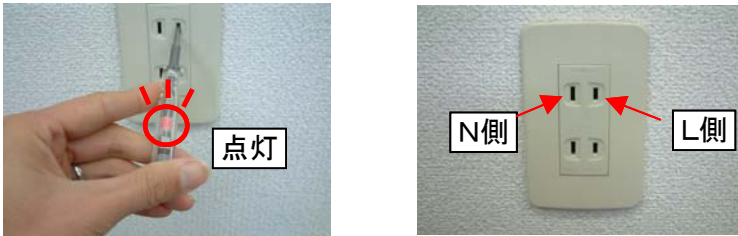


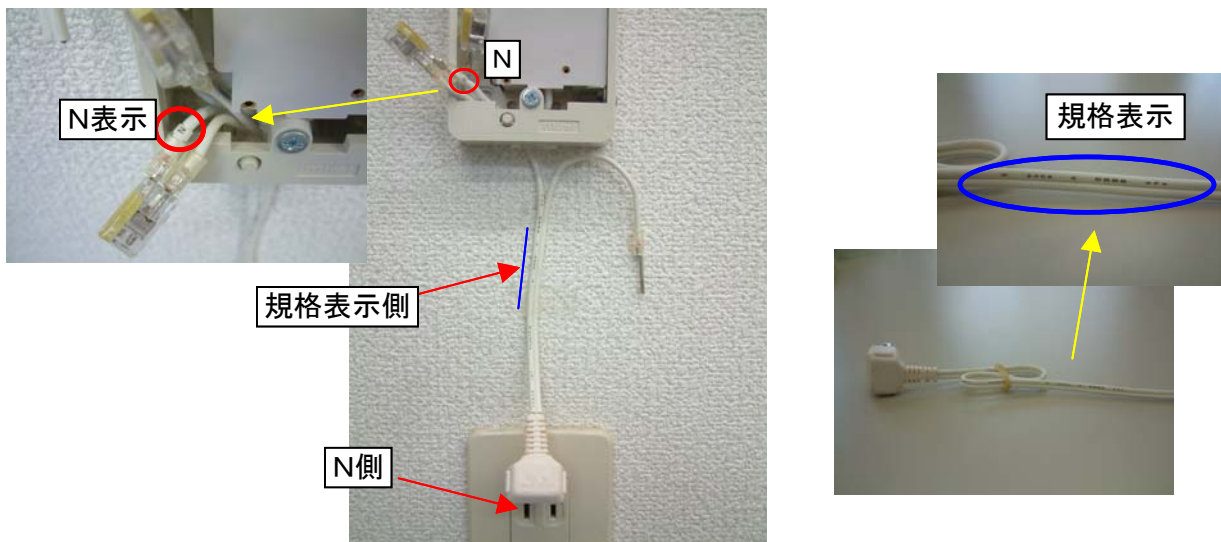
# コード短絡専用ブレーカ 極性確認施工資料

2008/11/26  
技術開発本部

- ①コンセントの極性を電検ドライバーで確認します。  
※通常、コンセント穴の大きい方がN側(接地極側)ですが、逆になっている場合もありますので**必ず電検ドライバーで確認**してください。  
※電検ドライバーのネオン管点灯がL側です。



- ②プラグコードのN側をコード短絡専用ブレーカの「N」表示コードと接続をします。  
※プラグコードは2線の区別ができる様に規格表示は片側のみ表示となっています。  
※写真はプラグのコードを上向きに施工した場合です。



- ③残りのプラグコードL側を専用ブレーカの表示なし側のコードと接続をします。  
④コード短絡専用ブレーカの出力側コードをタイマー・コントローラの電源端子に接続します。



## 【注意！】

- ・極性を間違って接続すると正常にブレーカが動作しません。
- ・プラグは配線作業が終わるまでコンセントに差込まないで下さい。
- ・タイマー・コントローラや専用ブレーカの取扱説明書もよくお読みになり正しく取り付けてください。